

令和2年度 海老名市環境審議会

第1回 海老名環境マネジメントシステム専門部会（書面審議） 会議録

日時等	令和3年2月8日（月）～2月25日（木）
案件	海老名環境マネジメントシステムにおける外部環境評価の実施について
出席委員	大橋委員、伊藤委員、後藤委員 計3名
事務局	環境課：大澤係長、松本

1 協議事項

・海老名環境マネジメントシステムにおける外部環境評価の実施について

<体系 I-i-1 エネルギー対策について>

※事前評価シートに基づき協議

委員 A : (公共施設の省エネについて)

飲食店のトイレに「ふたをすると CO2 の排出量が〇〇g 減少します。ご協力ください。」という表示を見かけた。このような表現も参考にされたら良いと思う。

事務局 : 委員 A の意見を評価の理由・内容に加えるのはどうか。

全委員 : 了承。

委員 B : 飲食店のトイレに「ふたをすると CO2 の排出量が〇〇g 減少～」のところは、少し言葉を足して「ふたをすると暖房便座の放熱を防ぎ CO2 排出量が～」とした方がわかりやすいと思う。

委員 A・C : 了承。

< 結果 > 評価点3とする。

判断理由・評価内容は、委員 A の意見に修正を加えたものを加筆することとする。

<体系 I-i-2 自動車対策について>

※事前評価シートに基づき協議

委員 A : (コミュニティバス運行の取り組みについて)

事前評価のご指摘通り利用者減少の要因の調査は必須である。その結果によっては、コミュニティバスの在り方、システムの再検討も必要と思う。

事務局 : 委員 A の意見を評価の理由・内容に加えるのはどうか。

全委員 : 了承

< 結 果 > 評価点3とする。
判断理由・評価内容は、委員Aの意見を加筆することとする。

<体系I-i-3緑化推進について>

※事前評価シートに基づき協議

委員 A : (取り組み状況について)

事前評価の指摘通りで、外出自粛、3密防止の状況で公園施設の環境影響は、従来と異なっているはずで又異なっていないとすると問題点がないか十分検討する必要がある。計画通りの実施だけを見ては、EMSの視点(スパイラルアップ等)が十分とはいえない。

委員 B : 「具体的活動の内容」欄の文章の時制が合わない、文章としての意味がくみ取れない。「実施します。」とか「遊具の点検(シルバー人材など)。」昨年と全く同じ文章で良いのか。本当に真剣に取り組んでいるか。と疑念が湧きます。

事務局 : 委員A・Bの意見を評価の理由・内容に加えるのはどうか。

全委員 : 了承

< 結 果 > 評価点3とする。
判断理由・評価内容は、委員A・Bの意見加筆することとする。

<体系I-i-4廃棄物対策について>

※事前評価シートに基づき協議

委員 A : 事前評価の指摘(生ごみ処理機の購入実績が想定4倍になった)通りである。内部評価が4(担当を上回る)としたのは、現場の環境活動を評価して指導する見方が十分だったのか内部評価の在り方の検討も必要だと思う。

委員 B : 生ごみ処理機の補助が大幅に増加した。周知がうまく行った結果だと思われるが③生ごみ処理機の周知内容はなにがあるか。

事務局 : 市役所1階ロビーで生ごみ処理機の展示会を月1回のペースで開催している。広報による周知、自治会回覧等を行っている。
委員A・Bの意見を評価の理由・内容に加えるのはどうか。

全委員 : 了承

< 結 果 > 評価点3とする。
判断理由・評価内容は、委員A・Bの意見を加筆することとする。

<体系I-i-5その他について>

※事前評価シートに基づき協議

委員 A : 事前評価の「新たな視点での教育展開」を是非受け止めていただ

- きたい。
- 委員 B : (取り組み状況について)
実施していることは評価できるが、本当にこの内容が適しているかを測定し、今後、やり方を変えていくことも必要だと思う。
- 事務局 : 委員 B の意見を評価の理由・内容に加えるのはどうか。
- 全委員 : 了承
- < 結果 > 評価点 3 とする。
判断理由・評価内容は、委員 B の意見を加筆することとする。

<体系Ⅱ-i-1 河川等の水質保全について>

※事前評価シートに基づき協議

- 委員 A : 環境評価調書の目標指標に「下水道普及率の目標が 95.90%」とあるが、平成 29 年度の環境評価調書事業コード 51 では実績値が 98.0%となっている。下水道普及率という用語の定義はなにか。
- 事務局 : 平成 29 年度の下水道普及率は、水洗化率の数字になっていた。現状が正しい数字である。評価に修正が必要か。
- 委員 A : 評価の修正は必要ないと思う。以前の値が誤っており、正しい数値に修正されているので、この評価とする。
- 事務局 : 評価点と評価の理由・内容は、事前評価のとおりでよいか。
- 全委員 : 了承
- < 結果 > 評価点 4 とする。
判断理由・評価内容は、事前評価のとおりとする。

<体系Ⅱ-i-2 騒音・振動防止対策について>

※事前評価シートに基づき協議

- 委員 A : 事前評価の「騒音苦情への対応」の評価 4 を支持する。特に「騒音発生の可能性を事前に把握し」は、環境活動として高く評価できると思う。
- 事務局 : 委員 A の意見を評価の理由・内容に加えるのはどうか。
- 全委員 : 了承
- < 結果 > 評価点 4 とする。
判断理由・評価内容は、委員 A の意見を加筆することとする。

<体系Ⅱ-i-3 水循環型社会の構築について>

※事前評価シートに基づき協議

- 委員 A : 事前評価の「評価 2」を支持する。事前評価と全く同意見で「目標未達の原因の考察」は、EMS の前に業務活動の基本である。その上で EMS の基本を再度認識が必要である。

委員 B : 周知の取り組みについて、市のホームページで、浄化槽の助成金のページにたどり着くのに、時間がかかる。また、たどり着いても、すでに助成金の受付が終了したという案内となっている。ホームページで掲載とあるが、積極的なPRを期待する。

事務局 : 委員A・Bの意見を評価の理由・内容に加えるのはどうか。

全委員 : 了承

<結果> 評価点2とする。

判断理由・評価内容は、委員A・Bの意見を加筆することとする。

<体系Ⅱ-i-4 化学物質等対策について>

※事前評価シートに基づき協議

委員 A : 事前評価の指摘通りで苦情の内容分析から課題を見つけ次の活動へ発展させるEMS活動が今求められている。

事務局 : 委員Aの意見を評価の理由・内容に加えるのはどうか。

全委員 : 了承

<結果> 評価点3とする。

判断理由・評価内容は、委員Aの意見を加筆することとする。

<体系Ⅱ-i-5 大気汚染・悪臭防止対策について>

※事前評価シートに基づき協議

事務局 : 意見がないため、評価点と評価の理由・内容は、事前評価のとおりでよいか。

全委員 : 了承

<結果> 評価点4とする。

判断理由・評価内容は、事前評価のとおりとする。

<体系Ⅱ-i-6 廃棄物対策について>

※事前評価シートに基づき協議

委員 A : 事前評価の「評価4」を支持する。また、事前評価委員の問題提起「コロナ禍における廃棄物の量や質の変化への対応」がEMSの基本に繋がるものである。担当職場が自らこのEMSを進めるよう市のシステムをレベルアップしていただきたい。

委員 B : 海老名クリーン作戦は場所を変えて実施し、定着している。今後も拡大してほしい。

事務局 : 委員A・Bの意見を評価の理由・内容に加えるのはどうか。

全委員 : 了承

<結果> 評価点4とする。

判断理由・評価内容は、委員A・Bの意見を加筆することとする。

<体系Ⅱ-i-7道路環境整備について>

※事前評価シートに基づき協議

事務局：意見がないため、評価点と評価の理由・内容は、事前評価のとおりでよいか。

全委員：了承

<結果> 評価点4とする。

判断理由・評価内容は、事前評価のとおりとする。

<体系Ⅱ-ii-1美しい都市景観の形成について>

※事前評価シートに基づき協議

委員A：評価2相当と考える。

事前評価の指摘通り「建築の際の届け出・通知が義務で、しないのは違法行為」だと私も考える。事前評価で指摘の通り目標設定に違和感があれば、目標達成していても評価は2が妥当と考える。

委員B：委員Aの意見に賛成する。

委員C：このテーマについては、前々年度には目標値がなく、前年度に目標値が設定された。前年度はその目標に対しての評価を行い3点を付けた。

今年度も目標値が今年度と同じであったので、一応、目標を達成したとして評価「3」とした。内容的には「2」かもしれないが、昨年度の評価時に「目標値の設定」について言及しなかったため、今年度も昨年同様に「3」と評価した。

今年度は「3」とするが、こんな目標設定ではだめだよというコメントを付けて次年度の改善を求めるのはどうか。実質は「2」かもしれないが。

委員A：委員Cのご意見でよいと思う。

従って、評価は、「3」とし、このままでは次年度はだめだという意見を付記することで次年度の改善を促したい。

事務局：以上の意見を評価の理由・内容に加えてよろしいか。

全委員：了承

<結果> 評価点3とする。

判断理由・評価内容は、次年度に改善を促す旨等の意見を加筆することとする。

<体系Ⅱ-ii-2丘陵地・緑地の保全について>

※事前評価シートに基づき協議

委員A：事前評価のとおり、「写真コンクール」や「ポスターコンクール」

だけでなく、担当課のより能動的な働き掛けを期待する。

事務局： 委員Aの意見を評価の理由・内容に加えるのはどうか。

全委員： 了承

<結果> 評価点3とする。

判断理由・評価内容は、委員Aの意見を加筆することとする。

<体系Ⅱ-ii-3 農業の振興について>

※事前評価シートに基づき協議

委員A： 事前評価の指摘通りだと思う。

自分の住まいの近くに希望が多いのは当然である。しかし、市民農園の土地の位置には限度がある。事前評価の指摘通り、そこに「担当課の工夫・アイデア・力量」が求められるのである。また、そこが市全体としてEMSを発揮できるか問われるところである。事前評価で「野菜作りの講習会」を今後に期待できる「芽」と評価した点に賛同する。

事務局： 委員Aの意見を評価の理由・内容に加えるのはどうか。

全委員： 了承

<結果> 評価点3とする。

判断理由・評価内容は、委員Aの意見を加筆することとする。

<体系Ⅱ-i-4 都市環境について>

※事前評価シートに基づき協議

事務局： 意見がないため、評価点と評価の理由・内容は、事前評価のとおりでよいか。

全委員： 了承

<結果> 評価点4とする。

判断理由・評価内容は、事前評価のとおりとする。

<体系Ⅱ-i-5 歴史的遺産等の保護と活用について>

※事前評価シートに基づき協議

事務局： 意見がないため、評価点と評価の理由・内容は、事前評価のとおりでよいか。

全委員： 了承

<結果> 評価点4とする。

判断理由・評価内容は、事前評価のとおりとする。